

職場と地域から鉄道と輸送サービス

地域共生社会の創造に向けて J T S U 運動を推し進めよう！

鉄道開業から 150 年を経過した今日、地方鉄道は廃線・転換という重大な局面を迎えている。

私たち日本輸送サービス労働組合連合会（以下、J T S U）は、10 月 13 日、北区赤羽会館において「これからの鉄道と輸送サービスを考える地域共生フォーラム（以下、地域共生フォーラム）」を開催し、職場と地域からこれからの鉄道と輸送サービスを展望し、地域共生社会に向けて次なる J T S U 運動をつくり出すことを参加者全体で確認した。

昨年 10 月に「地域交通の未来プロジェクト」を発足させ、鉄道の日(10 月 14 日)をスタートに、「鉄道の日アクション」として水郡線、内房線・外房線や久留里線、烏山線沿線でパンフレットを配布し、利用者の声と意見を把握する取り組みを広範につくり出してきた。また、「鉄道の未来を地域から考える学習会」を計 3 回開催し、J T S U 議員懇談会、有識者等、計 118 名の方々に出席して頂いた。そして、鉄道と輸送サービスに携わる組合員延べ 265 名が 36 路線 72 区間すべての現地に立ち、利用者や地域の方々から貴重な声や意見を掴んできた。私たちは、現地調査行動を行うことで地域の皆さんから温かいふれあいの中で鉄道に従事する社会的な信頼感と私たちへの期待を実感することができた。

昨年 7 月、J R 東日本会社から「利用客が極めて少ない地方線区の区間ごとの収支」が公表され、鉄道事業に従事する社員 4,000 名削減の報道以降、鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会による「ローカル鉄道の在り方に関する提言」では鉄道存続の新基準として、①優等列車 ②鉄道貨物輸送 ③バス等への置き換えが困難な場合 ④観光やまちづくり、教育、医療、福祉等に影響がある場合には鉄道特性があると判断されると事例が示された。10 月には「改正地域交通法」が施行され、「再構築協議会」の設置が法整備された。現在、津軽線、久留里線、大糸線において存続協議が開始されている。

今後、「地域共生フォーラム」における各機関からの提言をふまえて、「鉄道存続の新基準」に掲げられた『鉄道の特性』を検討し、法的な視点、有識者からの専門的な視点、そして、利用者・地域からの視点を組合案として職場と地域から広範に発信していく。

現地調査では、「駅や町に人がいない」という人口減少・少子高齢化が進む日本社会の根本問題に直面した。利用者や地域の方々から「J R は私たちの声を聞いてくれない」「J R は優しくない」とダイヤ設定や分離運転による利便性の低下、駅設備や車両設備に関するサービスレベルの低下が指摘され、地域の声に耳を傾けない J R 東日本会社の経営姿勢に対して厳しい意見と批判を頂いた。また、ダイヤ設定により、「電車がないので通いたい学校に行けない」と教育の格差が発生している。まさに、憲法による「教育を受ける権利」が侵害され、SDG s の「質の高い教育をみんなへ」からも逸脱している事態だ。

各機関からの提言では、鉄道を利用する学生や若手の声やアイデアを活かす必要性に触れ、駅周辺を活用することで世代を越えた交流を図り、地域コミュニティづくりを行うこと、地域の食や景観を活かし、観光路線として地域の魅力を発信していく等、利用者や地域の方々の声をふまえた提言が相次いだ。また、分離ではなく直通運転を重視するダイヤ設定、ワンマン運転の検証や駅ホーム上の安全対策等、労働組合として職場から要求を掲げて運動をつくり上げる発言が出された。その他にも、気象災害対応や 2024 年問題と物流危機に向けた鉄道ネットワークと鉄道貨物輸送の活用策の検討は大きな課題である。

地方が抱える課題は、やがて首都圏に波及し、私たちの雇用や職場環境に直結する重大な問題となる。私たちは、「駅は鉄道と社会との接点」という視点で、地方鉄道と地域交通から見えた課題から将来の首都圏の駅や輸送サービスのあり方を検討し、首都圏の課題と位置付けて取り組みを強化していく。

私たち J T S U は、地方鉄道と地域交通の課題をふまえ、鉄道を「文化」として継承していくことを提言する。そして、烏山線における取り組みをモデルケースとして、存続協議がスタートした久留里線等の行き止まり線に着目し、地域の方々と連帯し、地域共生社会に向けた J T S U 運動を創造していく。

これからも「共事者」の視点で、地域の皆さんと『共に生きる』ことを目指し、職場と地域から鉄道と輸送サービスの未来を創造し、地域共生社会の実現に向けて J T S U 運動を力強く推し進めよう。

2023 年 10 月 14 日

日本輸送サービス労働組合連合会（J T S U）